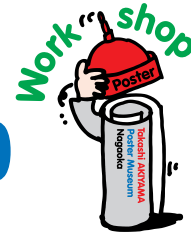


Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2016-02-09

**APM** 秋山孝ポスター美術館 長岡  
歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

# Workshop news 010



第10回APMワークショップ/長岡造形大学地域協創演習  
技法で絵本〜ふしぎ!左右対称の絵本をつくらう〜

10月17日(土) pm1:00〜3:00/会場: APM/参加者:9名/スタッフ:すずめ隊4名/指導:たかだみつみ、御法川哲郎

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233  
<http://apm-nagaoka.com>



## 地域協創演習

今年度も長岡造形大学との連携授業「地域協創演習」で、4名の学生が「すずめ隊」として秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) の活動をサポートしてくれました。今回のワークショップは、彼らが主体となって企画から準備、当日の進行を行いました。ミーティングを重ね、楽しみながら美術を学べる企画を実行することができました。

## デカルコマニーとは

今回のワークショップは、デカルコマニーという絵画技法を使いました。この技法は、1935年頃に画家のオスカール・ドミンゲスが発明し、フランス語で「転写法」を意味します。やり方は様々ありますが、今回は2つ折にした紙の間に絵の具を挟んで転写するという方法を用いました。この技法の特徴は、出来上がる模様を作者がコントロールすることができないという点です。様々な要因が合わさり、予想外の模様が出来上がるという部分に面白みがあります。

## 模様をつくる

まず、用意した紙を二つ折りにし、折り目をつけます。折った紙を開き、左右どちらかの面に絵の具を乗せます。絵の具を乗せたら、先ほどつけた折り目に沿って紙を二つ折にします。再度紙を開くと、不思議な形の模様が出来ます。折った際に押された絵の具は、広がったり隣の色と混ざることによって不思議な形へと変化します。同時に反対の面に写り、左右対称の模様が出来上がります。色数、絵の具の量、乗せる位置などは自由です。同じ色を使っても、状況によって出来上がる模様は違います。絵の具だけではなく、枯れ葉と一緒に挟んで試してみた人もいました。どのような模様が出来上がるのかは、紙を開いてみるまでわかりません。開く瞬間のドキドキ感やワクワク感がたまりません!参加者同士で作品を見せ合い、その度に驚きや感嘆の声が上がっていました。絵は、鉛筆や筆だけではなく、このような絵画技法でも描くことができます。

## 本にする

出来上がった模様を見てみましょう。何かに見えてきませんか?想像力を働かせて、それぞれの模様タイトルをつけました。きれいなお花、かっこいいカブトムシ、好きなアニメのキャラクターなど、不思議な模様に意味と名前がつけました。1枚1枚の作品をテープで横に長く繋げ、両端に厚紙を貼付けます。それを折り畳むと、ジャバラ型の本になります。厚紙でできた表紙に本のタイトルと作者名を書いたら、デカルコマニーによる世界に1冊のオリジナル絵本の出来上がりです。出来上がったジャバラ絵本を大事に抱えて持ち帰る参加者の姿がとても印象的でした。絵を描いて終わるのではなく、「本」という形に昇華させることで、自身の作品への愛情がより高まります。このように楽しく学ぶ体験を通して、美術に親しみを感じ、興味を持つきっかけになることを願っています。

(たかだみつみ・APM学芸員)

<材料・道具> ・画用紙 ・アクリルガッシュ ・筆 ・ドライヤー ・イラストボード ・セロハンテープ ・両面テープ など